

新 正 副 議 長 決 ま る



議 長 荒 木 裕 介

御挨拶

第130代埼玉県議会議長の職を拝命いたしました荒木裕介でございます。誠に身に余る光栄であり、心より感謝を申し上げますとともに、歴史と伝統ある埼玉県議会の議長という職責の重さに身が引き締まる思いであります。

現在、全国各地で急速に進む人口減少や少子高齢化、エネルギー・食料品価格などの高騰、激甚化・頻発化する災害、八潮市道路陥没事故で浮き彫りとなった老朽化したインフラなど、様々な課題に直面しております。特に本県は、大規模なインフラ事故が発生した県だからこそ、その教訓を生かし防災・減災対策を強力に推進していかなければなりません。

将来にわたり安心・安全に暮らせる持続的な社会を構築するには、関係機関が強固に連携し、社会全体でのDXの推進を更に加速させるなど、これまででない施策にチャレンジしていくことも必要であります。県民誰もが生きがいや役割を持ち、全ての世代が未来に希望を抱き、安心・安全に暮らせる社会の構築に全力を挙げて取り組むことが、持続可能な埼玉県の実現につながるものと確信いたしております。

このような中、議会が県政に対して監視機能を発揮するとともに、私たち議員が県民の声に真摯に耳を傾け、社会状況に即した政策提案を積極的に行っていくことが重要です。県議会がその役割と責務を果たせるよう、これまで培った経験を生かし、公平、公正かつ円滑な議会運営に全力を尽くしてまいります。

議員の皆様、そして大野知事をはじめ執行部の皆様には、より一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。



副議長 吉 良 英 敏

御挨拶

このたび副議長の要職に就かせていただきました吉良英敏です。大変光栄でありますとともに身の引き締まる思いでございます。

さて、県民生活や経済活動は、エネルギー価格等の物価高騰をはじめ、依然として厳しい状況に置かれています。また、埼玉県が直面する高齢化、医師不足、こどもたちを取り巻く環境、インフラの老朽化、災害や危機に対する県民の不安は増しています。このような社会情勢の中、我々県議会は、埼玉県ケアラー支援条例をはじめ、議員提案条例を全国で最も多く制定させてきました。これは行政、議会、そして県民の一体となった思いと声をしっかりと形にした、まさに県民一人ひとりの声に丁寧に耳を傾けてきた結果でもあります。

他方、AIをはじめとする時代の変化はとても目まぐるしく、その変化に即応するためには、あらゆる構造改革、そして私たちの意識改革が求められています。誰一人取り残さない、安心で幸せな県民生活を築くために、議会としての役割はもちろん、社会状況に即した政策提案を能動的に行うなど、二元代表制の一翼を担う役割を一層果たしていくことが重要であります。

人格、見識ともに卓越した荒木裕介議長のもと、全力を尽くしてまいる決意でございます。議員の皆様、並びに大野知事をはじめとする執行部の皆様には、格別の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。副議長就任の挨拶とさせていただきます。